

【今昔物語】

【】今は昔、安部仲麿といふ人

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。(広島県)

今は昔、安部仲麿といふ人ありけり。遣唐使として物を習はしめむがために、かの国に渡りけり。あまたの年を経て、え返り来ざりけるに、またこの国より藤原清河という人、遣唐使として行きたりけるが、返り来たりけるに伴ひて返りなむとて、明州といふ所の海の辺にて、かの国の人うまのはなぬけしけるに、夜になりて月のいみじく明かかりけるを見て、はかなき事につけても、この国の事思ひ出でられつつ、恋しく悲しく思ひければ、この国の方をながめて、かくなむよみける、「あまのはらふりさけみればかすがなるみかさの山にいでしつきかも」といひてなむ泣きける。

(注)

- ・あまた：たくさん
- ・え返り来ざりけるに：帰国できなかったが
- ・うまのはなむけ：送別会
- ・いみじく：たいそう
- ・はかなき事：ちよつとしたこと
- ・あまのはら：大空
- ・ふりさけみれば：はるか遠くを眺めると
- ・かすがなるみかさの山：(故郷の)春日の地にある三笠山

問一 「習はしめむ」の平板名の部分を現代仮名遣いに改めよ。

問二 「見て」の主語はだれか。文章中から抜き出せ。

問三 「あまのはらぶりさけみればかすがなるみかさの山にいでしつきかも」の和歌を五句に分けて考えるとき、作者の思いが最も強く表されているのはどこか。その句を抜き出して書け。

問四 「泣きける」とあるが、そのときの気持ちはどのようであったか。二十五字以内で書け。

「解答」

問一 わしめん

問二 安部仲麿

問三 いでしつきかも

問四 故郷のことを思い出して恋しく悲しく思っている。